

東備西播定住自立圏形成推進協議会 24年度上半期実施状況

地域医療の連携

○取組の内容

圏域の中核的病院である赤穂市民病院を中心として、圏域内の公立病院等が連携を図り、医療体制の確保、充実に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 医療関係者等を対象とした研修を赤穂市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を赤穂市と連携して運営する。	(a) 医療関係者等を対象とした研修を備前市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を設置し、運営する。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 医療関係者等を対象とした研修を上郡町と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を上郡町と連携して運営する。	(a) 医療関係者等を対象とした研修を備前市及び赤穂市と協力して実施する。 (b) 圏域内の医療体制の確保、充実に図るため、医療情報等の交換・協議の場を備前市及び赤穂市と連携して運営する。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	京都大学等から大学教授を招へいし、4公立病院（赤穂市民病院、備前病院、日生病院、吉永病院）の医師、看護師ほか医療技術者を対象に、先端医療の現状等について講演、指導等を仰ぐ連携研究会事業を行う。					
効果	公立病院の医師、看護師ほか医療技術職員の資質向上を図るとともに、医療関係者の相互理解を深め、今後の病院間連携・協力体制を構築する基礎とする。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	341	341	766	760	760	2,968

平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。

医療部会 矢野善章

【進捗状況】

病院及び介護施設の関係者を対象にした集合研修を実施

とき：9月14日 午後6時から

ところ：赤穂市民病院 講義室

講演者：臨床心理士 品川博二氏

内容：人間関係でのストレスに対応するためのメンタルヘルス研修

参加数：赤穂市内67人（市民病院 55、他施設12）、備前市内6人 計73人

【今後の予定等】

上記研修を継続実施する予定。

とき：10月19日、11月16日、12月7日 午後6時から

事業名	医療情報研究会事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	医療連携研究会事業で講演、指導を受けた内容や圏域内において課題となる共通事業について、研究・発表等により情報を共有し、連携を深める。また、住民、行政そして医療関係者も含めて危機的な状況にある地域医療の現状と課題について、専門家の講演を行う。					
効果	圏域内において医療情報を共有化し、圏域全体の医療サービスの向上を図るとともに、医療関係者の相互理解を深め、今後の病院間連携・協力体制を構築する基礎とする。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	55	47	502	500	500	1,604
平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。						
医療分野 矢野善章						
<p>【進捗状況】</p> <p>高齢化や医師の厳しい労働条件など医師不足の背景を解説したうえで、最新の医療知識が得られ、対応にゆとりがある病院に医師が集まるという現状から、受診態度の悪い地域は避けられている。医師の働く場の快適性を上げる設備投資が必要であると講演。</p> <p>と き : 7月7日(土) 午後3時から と ころ : 赤穂市文化会館 小ホール 講演者 : 城西大学経営学部 伊関友伸教授 テーマ : 地域医療 再生への処方箋 参加数 : 首長、議員含め約230名</p>						

生涯学習の推進

○取組の内容

圏域における生涯学習の機会拡大、文化・スポーツの振興、健康増進等を図るため、教育施設等の相互利用、文化・スポーツ等に関する情報の交換及び人材の交流等、文化・スポーツの交流等を推進する。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市と連携して、備前焼、世界遺産を目指す旧閑谷学校等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。	備前市と連携して、忠臣蔵、塩等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町と連携して、備前焼、世界遺産を目指す旧閑谷学校等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。	備前市と連携して、古代山陽道や赤松氏等に関する歴史資産の展示、交流やスポーツイベントの情報交換等を図ることで、圏域内の文化・スポーツ等の振興と向上を図る。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	埋蔵文化財出土遺物の交流・展示会を次のとおり企画し、3市町の資料館等で巡回展示する。 平成22年度 新発見考古速報展（企画：上郡町） 平成23年度 自慢の遺跡展（企画：赤穂市） 平成24年度 備前焼展（企画：備前市）					
効果	圏内は古代より備前、播磨の接壤地帯にあり、学会的にも注目される地域である。このような圏域の特徴を再発見し、誇りの醸成に資するとともに、圏域内外の人的交流を活かした文化振興を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	516	500	500	—	—	1,516

平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。

教育施設部会長 満 重 義 浩

【進捗状況、今後の予定等】

① 担当者会議

- ・開催館の決定（備前市：埋蔵文化財管理センター、赤穂市：有年考古館、上郡町：郷土資料館）
- ・展示スペース、展示資料及び展示方法の概要決定
- ・事業実施の詳細及びスケジュール（9月7日～11月4日開催）の決定

② スケジュール

- 9月 5日 報道発表
- 9月 7日 赤穂市立有年考古館にて展示開始～9月24日まで
- 9月 7日 赤穂市立有年考古館にてギャラリートークを実施
- 9月26日 上郡町郷土資料館にて展示開始～10月14日まで
- 10月17日 備前市埋蔵文化財管理センターにて展示開始予定
- 11月 4日 展示終了予定

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	行政と民間で実行委員会を設立し、参加者を募集して備前陶器窯跡、赤穂城跡、上郡町郷土資料館等3市町の指定文化財・文化施設等をバスで巡るツアーを実施する。					
効果	住民と行政の協働による実行委員会を設立して人的交流の裾野を広げるとともに、3市町の指定文化財・文化施設等を巡るツアーを実施して、各市町文化の相互理解を深める。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	486	490	460	—	—	1,436
平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。 教育施設部会長 満重義浩						
【進捗状況】						
① 第1回担当者会議 平成24年7月3日(火) 10:00～ 上郡町にて担当者会議を開催。 ・ツアー実施日・コース案作成						
② 第1回実行委員会 平成24年8月1日(水) 10:00～上郡町にて第1回実行委員会を開催。 ・ツアー実施日を10月6日に決定						
③ 第2回担当者会議 平成24年9月11日(火) 10:00～ 上郡町にて担当者会議を開催。						
【今後の予定等】 実施日時(予定) 平成24年10月6日(土) 9時～17時						

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町の住民が、定められた日(全国一斉)にどれだけ多くの人がスポーツや運動を行ったかを競い合う事業を、各市町でそれぞれ実行委員会を組織し、笹川スポーツ財団の補助金も得て実施する。					
効果	定住自立圏構想を住民へ周知するとともに、地域住民の仲間意識や連帯感を育み、スポーツや健康づくりに対する意識高揚と自治体・地域間交流の活性化を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	600	600	600	—	—	1,800
平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。 教育施設部会長 満重義浩						
【進捗状況】						
5月30日(水)、2市1町対抗で1日15分間以上の運動をしたか住民参加率を競うチャレンジデーを各市町実行委員会主催により実施した。						
＜結果＞						
赤穂市の参加率 61.9% 1位 (参加人数 31,602人)						
上郡町の参加率 48.5% 2位 (参加人数 8,196人)						
備前市の参加率 42.0% 3位 (参加人数 16,041人)						
・5月31日(木)に、下位の市町長より上位の市町長にエールを交換。						
・5月31日(木)から各市町庁舎のメインホールに、上位から順番に市町旗を1週間掲揚。						

事業名	図書館相互利用推進事業						関係市町																					
							赤穂市・備前市・上郡町																					
事業内容	関係市町の公立図書館及び関西福祉大学図書館の相互利用を促進するため、相互に利用案内を作成・設置するとともに、共通のポスター、チラシを作成する。																											
効果	公立図書館及び関西福祉大学附属図書館の利用にかかる利便性を向上し、住民サービスの向上を図る。																											
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計																						
	853	—	—	—	—	853																						
平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。																												
教育施設部会長 満重義浩																												
平成23年4月より備前市、赤穂市、上郡町、関西福祉大学の各図書館（図書室）の相互利用を開始。																												
<ul style="list-style-type: none"> 利用案内ポスター・チラシ配布 各図書館登録状況 																												
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">赤穂市から</td> <td style="width: 20%;">備前市</td> <td style="width: 20%;">6人</td> <td style="width: 20%;">上郡町</td> <td style="width: 20%;">44人</td> <td style="width: 20%;">関福大</td> <td style="width: 20%;">98人</td> </tr> <tr> <td>備前市から</td> <td>赤穂市</td> <td>244人</td> <td>上郡町</td> <td>4人</td> <td>関福大</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>上郡町から</td> <td>赤穂市</td> <td>139人</td> <td>備前市</td> <td>1人</td> <td>関福大</td> <td>7人</td> </tr> </table>								赤穂市から	備前市	6人	上郡町	44人	関福大	98人	備前市から	赤穂市	244人	上郡町	4人	関福大	12人	上郡町から	赤穂市	139人	備前市	1人	関福大	7人
赤穂市から	備前市	6人	上郡町	44人	関福大	98人																						
備前市から	赤穂市	244人	上郡町	4人	関福大	12人																						
上郡町から	赤穂市	139人	備前市	1人	関福大	7人																						
(平成24年9月末現在 累計)																												

事業名	文化・スポーツ交流事業						関係市町
							赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	文化事業やスポーツ大会等の開催情報を圏域全体に発信し、関係市町で実施する大会等に圏域住民のオープン参加を追加するなど、関係市町で実施する既存事業において圏域住民の参加を図る。また、体育指導委員等関係者の交流や関係市町で発行した文化関係図書等の交換を行う。						
効果	文化事業やスポーツ大会等に圏域住民の参加を促進して相互交流を深めるとともに、施設の利用促進を図る。他市町の住民やチームが参加することによるレベルアップも期待できる。また、行政間でも人的・物的交流による相互理解を深める。						
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	—	—	—	—	—	—	
平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。							
教育施設部会長 満重義浩							
【進捗状況、今後の予定等】							
<ul style="list-style-type: none"> 5月17日（木）、2市1町スポーツ推進委員情報交換会を開催。 各市町スポーツ推進委員の活動状況や今年度のスポーツ推進委員のスポーツ交流大会、研修会など、今後の交流事業について協議を行った。 6月16日（土）、赤穂市民総合体育館で西播磨スポーツ推進委員研修会の実技講習会を実施。 講師として、備前市スポーツ推進委員10名がチャレンジ・ザ・ゲームの指導を担当。 11月11日（日）、第2回赤穂シティマラソン大会の競技役員として2市1町スポーツ推進委員が選手誘導係を担当予定。 12月16日（日）、上郡町B&Gにて2市1町スポーツ推進委員スポーツ交流事業を実施予定。 実技研修会として、チャレンジ・ザ・ゲームを実施予定。 							

事業名	文化・スポーツ施設相互利用促進事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	関係市町の文化・スポーツ施設のうち、圏域住民が利用する施設と位置づけられた施設について、市町民と市町外住民に使用料金格差を設けているなどの制約がある場合、原則として圏域住民に限り市町民と同等の条件で利用できるよう改める。					
効果	圏域住民が文化・スポーツ施設を平等に利用することにより、圏域内の文化・スポーツの振興、施設の利用促進及び住民の相互交流を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—

平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。

教育施設部会長 満重義浩

【進捗状況】

東備西播定住自立圏域内（赤穂市、備前市、上郡町）の文化・スポーツ施設について、これまで他市町の住民に対して利用制限や割増料金などを設けていたが、文化・スポーツの振興、住民の相互交流を深めるため、3市町の住民が同じ条件で利用できるように関係条例等を一部改正した。

＜広域利用対象施設＞

〔赤穂市〕

1) 文化関連施設

文化会館・市民会館・美術工芸館・歴史博物館・海洋科学館・民俗資料館・図書館

2) スポーツ関連施設

城南緑地運動施設・市民総合体育館・野外活動センター

〔上郡町〕

1) 文化関連施設

生涯学習支援センター・郷土資料館・生きがい創造センター

2) スポーツ関連施設

スポーツセンターB&G

〔備前市〕

1) 文化関連施設

市民センター・吉永地域公民館・加子浦歴史文化会館・八塔寺ふるさと村民民俗資料館・図書館（本館）・図書館（日生分館）・図書館（吉永分館）・吉永美術館・歴史民俗資料館・日生市民会館

2) スポーツ関連施設

総合運動公園・三石運動公園施設・日生運動公園施設・吉永B&G海洋センター・頭島グラウンドゴルフ場・伊部運動公園・浜山運動公園・日生武道場・吉永テニスコート

＜広域利用開始時期＞

平成23年4月1日

事業名	赤穂市文化会館整備事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	生涯学習の推進のための各種事業を実施する赤穂市文化会館は、圏域において重要な文化振興拠点施設であるため、経年劣化により改修の必要性がある施設設備等の改修を行う。					
効果	圏域住民の利用に必要な施設整備を行い、圏域形成を推進する文化事業の振興を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	57,000	87,763	123,000	—	267,763
平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。 教育施設部会長 満重義浩						
【進捗状況】 (1) 大ホール舞台改修工事 舞台の吊物機構マシンの更新工事 (2) 冷温水機改修工事（館全体） 館内冷温水機の更新工事 【今後の予定等】 小ホール音響設備改修工事						

学校給食の広域連携

○取組の内容

圏域における学校給食の充実を図るため、学校給食施設の広域連携を図る。

備前市の役割	赤穂市の役割
技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。	技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
技術的支援等圏域における学校給食の充実を図るため、必要な協力を行う。	学校給食施設を建設するにあたり、備前市及び赤穂市と連携して、施設運営の技術的交流に取り組むことにより、圏域における学校給食の充実を図る。

事業名	上郡町学校給食施設整備事業					関係市町
						上郡町・備前市・赤穂市
事業内容	上郡町が建設する学校給食施設の運営にむけて、将来を見据え、圏域市町の経済効果等につながる広域連携について検討する。					
効果	学校給食の提供による食育の推進を通じて、圏域内で生産された食材について理解を深めるとともに、圏域内の地産地消の推進を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	317,845	105,151	—	422,996
平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。						
給食部会長 田 淵 幸 夫						
【進捗状況】						
平成24年1月 上郡町学校給食センター建築工事設計監理業務委託契約を締結						
平成24年2月～ 上郡町学校給食センター設計に関する技術的相談、協議						

地産地消の推進及び地域ブランドの発掘

○取組の内容

地産地消の推進及び地域ブランドの発掘を図るため、圏域内の事業者に対して既存商品の再発掘、改良及び新商品の開発等について必要な支援を行うとともに、各種イベントの実施や既存施設の空きスペース等の活用により情報を発信する。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。	備前市及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等について総合的な調整を行うとともに、必要な支援及び情報発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町及び関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。	備前市及び赤穂市、並びに関係団体と連携し、農商工連携セミナーやイベントの開催等必要な支援及び情報発信を行う。

事業名	地域ブランド発掘事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	農商工連携セミナー、学習会、料理教室等各種イベントを農業者、商工業者が共同で実施するなど、地域ブランド発掘のための事業を行うとともに、各地でのイベントに出店、参加する。					
効果	地産地消を推進し、地域独自の売りとなる地域ブランドの商品や特産品などを創造することにより、圏域経済を活性化し、生産者等の意欲向上を図るとともに、圏域市町の名を全国に発信し、知名度アップを図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	1,844	2,100	2,180	2,000	2,000	10,124

平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。

農林商工部会長 安部 徹

【進捗状況、今後の予定等】

- 平成24年4月26日(木) 農林商工部会開催
平成24年度事業計画について 外
- 平成24年8月20日(月)、21日(火) 農商工連携セミナー(個別ヒアリング)の実施
 - 出席者 7名(商工業者4名、農業者3名)
 - 内容 今後の農商工連携に関する取組みについて、農商工業者からの課題・希望等を聴き取り

【実施計画】

実施日	内容	場所	備考
★平成24年8月20日(月) ～21日(火)	農商工連携セミナー (個別ヒアリング)	赤穂市役所	参加希望者から個別に今後の取組希望等についてヒアリングを実施 【参加者7名:商工業者4名、農業者3名】
10～2月	各市町のイベントに出店	各市町	・閑谷学校ライトアップ物産市 ・白旗城まつり ・赤穂かきまつり

11月	農商工連携セミナー (全体セミナー)	赤穂商工会議所	・個別ヒアリングの結果に基づき、連携の提案等を行う
随時	地域ブランド発掘事業推進 支援		展示商談会出展、新製品開発・既存商品の販路 拡大に関する取り組みの補助
11月以降	料理教室	各市町	3市町の食材を用いた新たなメニューの開発を模索 するため、上郡町の平田調理師専門学校との連携を 検討する

★印は実施済みのもの

鳥獣害防止総合対策

○取組の内容

圏域内の農業被害の軽減及び山村の機能を保全するため、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律（平成19年法律第134号）に基づき、各市町が策定した被害防止計画に定めた鳥獣被害防止対策を総合的に進める。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 関係住民等との連携を図り、赤穂市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 赤穂市と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。	(a) 関係住民等との連携を図り、備前市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 備前市と共同して鳥獣被害防止計画を策定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 関係住民等との連携を図り、上郡町と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 上郡町と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。	(a) 関係住民等との連携を図り、備前市と鳥獣被害に関する緊密な情報交換を行う。 (b) 備前市と共同して必要に応じて鳥獣被害防止計画を改定し、有害鳥獣の駆除並びに鳥獣被害防止対策の研究を行うとともに、当該対策が有効なものとなるよう取り組む。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町で鳥獣被害防止計画のすり合わせを行うとともに、ヌートリア用捕獲檻を一括購入したり、狩猟期間以外において市町界、県境での有害鳥獣の共同捕獲活動を実験的に行う。					
効果	圏域の関係団体が一体となった取組みを進めることにより、農作物等への被害を抑制し、イノシシやシカなどの生息状況や生息環境の情報を共有しながら効果的な対策を講じることができる。特に、関係市町の境界付近においては有効である。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	642	2,800	710	700	700	5,552

平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。

農林商工部会長 安部 徹

【進捗状況】

- 平成24年4月26日（木） 農林商工部会開催
平成24年度事業計画について 外
- 平成24年9月 ヌートリア捕獲用わな共同購入 20基

【今後の予定等】

- ・捕獲わな用等消耗品の共同購入
- ・獣害防止に係る啓発用DVDの購入

企業誘致の推進

○取組の内容

圏域経済の活性化を図るため、連携して企業誘致に必要な情報の発信を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
企業誘致説明会等に協力及び参加し、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。	大阪市等の主要な都市部における企業誘致説明会の開催等により、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
企業誘致説明会等に協力及び参加し、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。	企業誘致説明会等に協力及び参加し、圏域への企業誘致に必要な情報の発信を行う。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	大阪など都市部で開催される大規模な企業誘致説明会や展示会等に、関係市町が合同で出展、参加し、情報発信を行うなど企業誘致促進のための事業を行う。					
効果	住民の雇用機会の拡大及び産業振興の促進を図ることにより、圏域経済の活性化と定住人口の確保を図り、圏域全体の活性化を推進する。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	1,961	2,000	2,000	2,000	2,000	9,961

平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。

農林商工部会長 安部 徹

【進捗状況】

- 平成24年5月22日（火）、8月7日（火）、9月11日（火） 農林商工部会開催
「第15回関西機械要素技術展」出展に関する協議

【今後の予定等】

- ◆「第15回関西機械要素技術展」への出展
日時 10月3日（水）～5日（金）
場所 インテックス大阪

観光振興の推進

○取組の内容

観光振興による地域産業の活性化を図るため、地域の観光資源の発掘やその魅力を活かした観光ルートの設定、旅行代理店等へのPR及びガイドブックの作成を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 備前焼、旧閑谷学校等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 赤穂市と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 赤穂市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。	(a) 忠臣蔵、塩等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 旅行代理店等と連携、調整を図り、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 備前市連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 備前焼、旧閑谷学校等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 上郡町と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 上郡町と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。	(a) 古代山陽道や赤松氏等の既存の観光資源の活用や新たな観光資源の発掘について検討を行う。 (b) 備前市及び赤穂市と連携して、地域の観光資源を活かした観光ルートの設定を行う。 (c) 備前市と連携して、旅行代理店等へのPRやガイドブックの作成及び配布を行い、広く観光客の誘致を図る。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	単独の市町では設定できない魅力的な観光ルートを、関係市町が連携して設定し、広域的な観光ガイドブックを作成する。さらに、観光キャンペーン等での情報発信や誘客活動を共同で行う。 なお、事業の実施にあたっては、外部アドバイザーの招へい等を行い、事業の円滑な推進を図る。					
効果	知名度の高い観光資源を有効に組み合わせ活用するとともに、海、山、川など豊かな自然環境や景観を活かした新たな観光資源の開発の検討もを行い、圏域全体での観光振興の推進を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	8,207	7,600	1,100	800	500	18,207

平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。

観光部会長 永石 一彦

【進捗状況】

- 4月23日(月) 観光部会開催
平成23年度事業報告及び平成24年度事業について
- 5月21日～5月31日
るるぶ情報誌(23年度作成分)配布(JTB委託)
近畿・中国・四国のJTB支店並びに提携施設等 217箇所 4,000部

【今後の予定等】

平成25年1月～3月(予定) 3市町合同キャンペーンの実施

地域公共交通ネットワークの構築

○取組の内容

圏域内住民の移動手段を確保するため、圏域における公共交通の課題について継続的に調査、検証するとともに、バス路線の充実・構築及びＪＲ山陽本線、赤穂線の利便性向上に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
(a) 赤穂市と協力、連携して両市間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけについて総合的な調整を行う。	(a) 圏域内住民の移動手段を確保するため、両市間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、備前市と協力、連携して西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけを行う。
備前市の役割	上郡町の役割
(a) 上郡町と協力、連携して両市町間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけについて総合的な調整を行う。	(a) 備前市及び赤穂市と協力、連携して両市町間等のバス路線の充実又は構築を図る。 (b) ＪＲの利便性向上を図るため、備前市と協力、連携して西日本旅客鉄道(株)等関係機関への働きかけを行う。

事業名	圏域運行バス調査・検証事業						関係市町
							赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内において関係市町間を結ぶ公共交通ネットワークを構築するため、圏域運行バスの導入に向けて、住民ニーズ、バスの利用実態及び費用対効果等を分析・調査する。						
効果	公共交通手段の確保により、圏域住民の生活エリアの拡大、高齢者等交通弱者の移動手段の確保並びに地域の活性化を図る。						
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	1,000	10,432	20,440	30,000	30,000	91,872	

平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。

交通部会長 森 脇 博

【進捗状況、今後の予定等】

圏域バスを実証運行中（2年以内）

【運行基準】

- ①市町域を越える利用者は1便当り1人超、かつ、1日当りのバス総利用者は16人以上。
- ②東備西播定住自立圏共生ビジョンによる圏域事業として実施する期間。

【運行開始日】

上郡ルート 平成24年2月27日（月）

備前ルート 平成24年3月5日（月）

【運行実績】

圏域バス運行状況一覧表

区分/ 月	総括					上郡ルート					備前ルート				
	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数	運行 日数	利用者 総数	1日当り 利用数	1便当り 利用数	市町域越 1便当り 利用者数
24.2	3	83	27.7	6.9	4.8	3	83	27.7	6.9	4.8					
24.3	27	817	30.3	4.0	2.7	27	508	18.8	4.7	2.6	24	309	12.9	3.2	2.7
24.4	25	768	30.7	3.8	2.4	25	508	20.3	5.1	2.8	25	260	10.4	2.6	2.1
24.5	27	806	29.9	3.7	2.2	27	488	18.1	4.5	2.2	27	318	11.8	2.9	2.1
24.6	26	749	28.8	3.6	2.4	26	483	18.6	4.6	2.5	26	266	10.2	2.6	2.4
24.7	26	778	29.9	3.7	2.6	26	534	20.5	5.1	3.0	26	244	9.4	2.3	2.2
24.8	27	810	30.0	3.8	2.6	27	481	17.8	4.5	2.1	27	329	12.2	3.0	3.0
24.9	25	805	32.2	4.0	2.5	25	519	20.8	5.2	2.3	25	286	11.4	2.9	2.8
累計	186	5,616	30.2	3.8	2.5	186	3,604	19.4	4.8	2.6	180	2,012	11.2	2.8	2.5

事業名	J R 利便性向上事業					関係市町
						備前市・赤穂市・上郡町
事業内容	J R 山陽本線、赤穂線を利用する住民や圏域を訪れる人たちの移動手段と利便性の向上を図るため、関係市町により J R 西日本等関係機関への働きかけを行う。					
効果	公共交通手段の確保により、圏域住民の生活エリアの拡大、高齢者等交通弱者の移動手段の確保並びに地域の活性化を図る。					
事業費 (千円)	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	計
	150	130	130	130	130	670
平成 24 年度の上記部会事業について、9 月末時点の状況を次のとおり報告する。						
交通部会長 森 協 博						
【進捗状況、今後の予定等】						
◆ J R への要望活動について、兵庫・岡山両県境隣接市町村振興協議会と共同で実施する。						
<ul style="list-style-type: none"> ・ J R 岡山支社要望会 未定 ・ J R 神戸支社要望会 未定 						

地域情報ネットワークシステムの構築

○取組の内容

圏域内の地域情報を、行政、各種団体、個人が、インターネットを介し、容易に発信や入手できる地域コミュニティサイトの構築に取り組む。

備前市の役割	赤穂市の役割
地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に赤穂市と協力して取り組む。	地域コミュニティサイトを検討する会議を主催し、地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に上郡町と協力して取り組む。	地域コミュニティサイトの研究、共同構築及び運営に備前市及び赤穂市と協力して取り組む。

事業名	地域情報活性化事業						関係市町
							赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内の地域情報の交流と活性化を図り、魅力ある圏域を形成するため、ICT技術を活用した地域SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を構築し、運営する。						
効果	公式ホームページによる行政情報は行政からの一方通行であるが、地域SNSは、行政と住民、住民と住民など、双方向から発信することができるため、関係市町間及び行政と住民間の情報共有並びに地域社会及び地方行政への住民参画を図る。						
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	—	1,200	1,860	1,860	1,860	6,780	
平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。							
通信情報部会長 沼田 浩							
【進捗状況、今後の予定等】							
SNSを引き続き運用中							
地域コミュニティ活性化を、圏域ホームページも兼ねた地域ポータルサイトの構築で検討							

事業名	圏域ホームページ作成事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域情報を住民に広く周知するため、関係市町公式ホームページとは別に関係市町で組織する東備西播定住自立圏形成推進協議会のホームページを作成し、情報を発信する。					
効果	圏域のイベント情報や東備西播定住自立圏形成推進協議会の状況等定住自立圏形成に必要な情報を発信し、情報の共有化を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	2,470	1,090	1,090	4,650
平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。						
通信情報部会長 沼田 浩						
【進捗状況】						
	4月17日	地域ポータルサイトについて実施事業者からの情報提供等説明会 SNS上での各市町とポータルサイトの構築方法について協議				
	6月26日	ポータルサイトと各市町の公式HP連携について				
	9月28日	協議会、備前市、上郡町、赤穂市と委託先との協定締結 具体的なポータルサイトの構築作業に着手				
【今後の予定等】						
	10月	圏域ポータルサイトの愛称を公募する ・公募方法 インターネットからの応募				
	11月14日	本オープン予定				

住民交流

○取組の内容

圏域内の住民交流を活性化させるため、赤穂国際音楽祭等住民交流に資するイベント等を実施又は支援し、にぎわいの創出、相互の理解を深める。

備前市の役割	赤穂市の役割
赤穂市と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。	赤穂国際音楽祭等の開催に向けて必要な調整を行うとともに、備前市と連携して住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。
備前市の役割	上郡町の役割
上郡町と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。	備前市及び赤穂市と連携して、住民の交流及びにぎわいの創出に資する各種イベントを開催又は支援する。

事業名	民間イベント等助成事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	民間事業者等が行うイベントで、圏域内の複数の市町において実施するとともに、圏域内外の住民交流の促進と賑わいの創出、相互の理解を深めるために実施するものに対し、助成を行う。					
効果	住民の交流を促進するとともに、住民自身の直接参画によるイベント等の開催を支援することにより、住民と行政の協働による圏域づくりを目指した取り組みを進める。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	1,114	2,100	2,050	2,050	2,050	9,364

平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。

交流定住部会長 東 南 武 士

【進捗状況】

- ・平成24年度募集期間：3月15日～4月13日、応募団体13団体
- ・平成24年4月22日 公開審査（赤穂市役所）
次の13事業について支援を決定した。 ※事業一覧は別紙のとおり
- ・各事業PR等支援

	活動事業名	事業概要
	団体名	
1	忠臣蔵交流囲碁大会及びこども囲碁教室の開催	3市町の囲碁クラブを中心に、忠臣蔵交流囲碁大会を開催するとともに、囲碁を通じた健全なこども育成事業としてこども囲碁教室を開催する。
	忠臣蔵交流楽碁会	
2	第3回上郡町・赤穂市・備前市 定住自立圏推進交流中学校軟式野球大会	3市町中学校の11チーム(赤穂5、上郡1、備前5)による第3回上郡町・赤穂市・備前市定住自立圏推進交流中学校軟式野球大会を、上郡町スポーツセンター野球場及び赤穂城南緑地公園野球場で開催する。
	上郡町軟式野球協会	
3	東備西播定住自立圏域市町 第3回親善ゲートボール大会	3市町及び近隣市町の住民による第3回ゲートボール大会を、赤穂城南緑地公園で開催する。
	東備西播定住自立圏域市町ゲートボール協議会	
4	幼児から高齢者までサッカーを通じた健康づくり、 仲間づくり及び地域づくりの推進	3市町の小学生と高校生、社会人のサッカー交流イベントと合わせて、中学生及び高校生を対象とした地域交流サッカー大会を開催する。
	エンジョイサッカー実行委員会	
5 新規	第1回赤穂市・備前市・上郡町 定住自立圏推進交流ターゲットバードゴルフ大会	3市町の友好親善と交流、競技人口の増加と普及を図るため、ターゲットバードゴルフ大会を、千種川河川敷ターゲットバードゴルフ場で開催する。
	赤穂市ターゲットバードゴルフ協会	
6 新規	障害者スポーツ交流事業 AKBパラリンカップ	障害者スポーツの更なる充実と振興を目指し、障害者、家族多種多様な分野の人が手軽に参加できるよう、障害者交流スポーツ大会を開催する。
	AKBパラリンカップ委員会	
7	テニス大会	3市町テニス協会による「第3回東備西播ダブルステニス大会」を開催する。
	赤穂市テニス協会	
8 新規	琉球ちゃんぷる	8月に開催される備前市「ふるさとふれあい祭」に参加し、交流を図るとともに、赤穂海浜公園で交流イベントを実施する。
	エイサー倶楽部ていだ《太陽》	
9	ふらっと県境まちぶら (まちの達人おすすめのみちあるきコース)	備前市観光協会、日生観光協会、赤穂市観光協会、上郡町観光協会の4協会の企画・運営による「3市町まちあるきコース」を設定した「まちぶら」を実施する。
	備前市観光協会	
10 新規	第1回赤穂市・備前市・上郡町 定住自立圏推進バレーボール交流大会	3市町の交流を促進することを目的に、バレーボール連盟主催の交流大会を開催する。
	備前市バレーボール連盟	
11	第2回はりまりコーダーオーケストラ・コンサートin赤穂	「はりまりコーダーオーケストラ」に、赤穂市児童合唱団をゲストに迎え、第2回コンサートを赤穂市文化会館で開催する。
	リコーダーアンサンブル・ドルチェ	
12 新規	赤穂御崎活性化キャンペーン	赤穂御崎にある「壘岩」と海岸線が潮の干潮で道ができる場所を「恋人の聖地」とし、3市町の人に限定した公募ウェディングを実施する。
	赤穂温泉旅館組合	
13	戦国武将よろいカブト交流事業2012	赤松円心ゆかりの地、上郡町赤松地区と備前市片上地区の交流を更に深めるため、昨年のよろいカブトに続き足軽衣装を作成することで親睦と交流を図る。
	赤松校区むらづくり推進委員会	

事業名	赤穂国際音楽祭開催助成事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	圏域内外の住民交流を促進し、住民の賑わいを創出するために行う赤穂国際音楽祭の開催に対して助成を行う。					
効果	圏域の魅力を赤穂国際音楽祭を通して日本全国、世界に発信するとともに、住民参加により地域に根ざしたイベントとして充実・発展させる。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	1,000	800	1,000	800	3,600

平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。

交流定住部会長 東 南 武 士

【進捗状況、今後の予定等】

- ◆ル・ポン2012（赤穂国際音楽祭、姫路国際音楽祭の共同開催）
開催日：平成24年10月5日（金）～11日（木）
- ◆赤穂国際音楽祭
開催日：平成24年10月5日（金）～6日（土）
定住自立圏枠設置日 10月5日（金）
開催場所：赤穂市文化会館ハーモニーホール
- ◆定住自立圏チケットを200席分確保し、備前市民及び上郡町民向けに販売。
- ◆定住自立圏チケット購入者には、備前市役所及び上郡町役場を発着とする送迎バスを運行する。

移住の促進

○取組の内容

圏域外からの人の流れを創出し魅力ある圏域を作るため、連携して移住情報の発信を行う。

備前市の役割	赤穂市の役割
定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。	神戸市等の主要な都市部における定住相談会の開催等により、圏域の移住情報の発信を行う。
備前市の役割	上郡町の役割
定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。	定住相談会等に協力及び参加し、圏域の移住情報の発信を行う。

事業名	関係市町					
	赤穂市・備前市・上郡町					
事業内容	関係市町合同による定住相談会を神戸市等の主要な都市部で開催し、各市町で実施している定住支援策等の情報を発信し、移住希望者の定住先として本圏域を選択してもらえるよう定住促進事業を実施する。					
効果	住んでみたいと感じてもらえる魅力のある圏域づくりに努め、その情報を圏域外へ発信するとともに、圏域の存在をアピールして、圏域外からの移住及び交流人口の増加を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	900	1,300	1,772	1,770	1,770	7,512

平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。

交流定住部会長 東南 武士

【進捗状況、今後の予定等】

◆東京会場

「ふるさと回帰フェア2012東京」に参加
 開催日：平成24年9月17日（月・祝）
 開催場所：早稲田大学 10時～17時
 内容：3市町職員による定住相談会（相談件数 45組58人）

◆大阪会場

「ふるさと回帰フェア2012大阪」に参加
 開催日：平成24年9月29日（土）
 開催場所：シティプラザ大阪 10時～17時
 内容：3市町職員による定住相談会（相談件数 57組73人）

◆神戸会場

未定

圏域内の職員等の交流

○取組の内容

職員の資質向上及び圏域マネジメント能力の強化を図るため、圏域外の専門家の招聘や、合同研修、職員交流を実施する。

備前市の役割	赤穂市の役割
a 備前市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 赤穂市と協議の上、圏域の活性化を図るために必要な圏域外の専門家を招聘する。	a 赤穂市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 備前市と協議の上、圏域外の専門家の招聘に協力する。
備前市の役割	上郡町の役割
a 備前市が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 上郡町と協議の上、圏域の活性化を図るために必要な圏域外の専門家を招聘する。	a 上郡町が実施する研修に、圏域内の職員を参加させる。 b 各分野における諸課題についての情報交換、共同研究の機会を設ける。 c 必要に応じて職員の圏域内相互派遣交流を行う。 d 備前市と協議の上、圏域外の専門家の招聘に協力する。

事業名	職員研修事業					関係市町	
						赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	職員の能力向上を図るため、圏域内の共通の課題をテーマに各市町職員を対象とした集合研修等の研修を実施する。						
効果	職員の能力及び資質の向上を図るとともに、圏域全体にわたる事業運営の円滑化と職員間の一体感を醸成させる。						
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	130	360	360	360	360	1,570	
平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。							
職員部会長 藤本大祐							
【進捗状況、今後の予定等】 9月末時点においては実施していない。 今後、圏域内の共通課題をテーマとした他の定住自立圏域等への視察を行い、その報告会を各市町職員の集合研修として実施する予定。							

事業名	職員研修参加交流事業					関係市町	
						赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	各市町において実施している職員研修に、他の関係市町の職員を受け入れる。						
効果	参加可能な研修メニューの幅が広がるとともに、職員間の交流を深める。						
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	—	—	—	—	—	—	
平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。							
職員部会長 藤本大祐							
【進捗状況、今後の予定等】							
相互に参加可能な研修内容や日程等について調整中であり、現在のところ、以下の研修を対象に参加者の取りまとめを行っている。							
赤穂市 ◇10月3日(水)、赤穂市役所において公務員倫理研修を開催予定							

事業名	人事労務担当職員研究会(交流)事業					関係市町	
						赤穂市・備前市・上郡町	
事業内容	関係市町の人事担当部署が人事労務にかかる情報交換を図る研修・交流会を持ち回りで開催する。						
効果	人事労務に係る情報交換を行うことにより、関係市町の課題に的確・迅速に対応する。						
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計	
	—	—	—	—	—	—	
平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。							
職員部会長 藤本大祐							
【進捗状況、今後の予定等】							
10月17日、上郡町において各市町の担当職員による研究会の開催を予定しており、各市町の課題となっている事項等について情報交換を行うこととしている。							

事業名	専門家招へい事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	高度で専門的な知識・技術等を有し、広域的な行政運営の見識が深く、専門的な立場から指導・助言できる専門家を招へいする。					
効果	魅力ある圏域づくりに向け、多様化する住民ニーズを的確に捉え、政策立案ができる職員等を育成する。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—
平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。						
職員部会長 藤本大祐						
【進捗状況、今後の予定等】						
総務省自治大学校、(財)自治研修協会及び兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会との共催により、以下の講演会を開催した。						
1. 講演会名 協働による地域づくり特別講演会						
2. 日時 平成24年8月31日(金) 午後1時30分～午後5時30分						
3. 会場 赤穂市文化会館 ハーモニーホール 小ホール						
4. 参加者数 約300名						

事業名	職員交流(派遣)事業					関係市町
						赤穂市・備前市・上郡町
事業内容	関係市町において協議のうえ、必要に応じ職員の派遣交流を行う。					
効果	圏域全般における職員の相互理解と、職員としての資質・能力の向上を図る。					
事業費 (千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	計
	—	—	—	—	—	—
平成24年度の上記部会事業について、9月末時点の状況を次のとおり報告する。						
職員部会長 藤本大祐						
【進捗状況、今後の予定等】						
11月17日～18日に備前市で開催予定の「B級グルメの祭典」に、赤穂市及び上郡町から職員を派遣することにより、職員間の交流を深めるとともに、一体感を醸成させる。						